

歩こう！！核兵器のない公正な世界めざして

## 2024国民平和大行進が秋田入り

平和行進が6月6日、青森から秋田に矢立て峠で引き継がれました。

6日10時半に大館の中央公民館を出発、鹿角市、鹿角厚生連病院、小坂町に要請・懇談ののち引き継ぎの矢立峠へ。引き継ぎ集会では、「青い空は」などを合唱、エールを交換して世界大会



での再会を約束し散会。集会終了後は、大館市内に移動し、スーパーいとく前から大町のハチ公小路まで行進しました。自治体要請では議会開催直前の多忙な時期にもかかわらず、快く要請を受けてくれペナントへの記名、募金、署名用紙の預かりに応じてくれました。



△青森・秋田の新婦人の皆さん



△ペナントに記名する小坂町細越町長

歩こう！！核兵器のない公正な世界めざして

## 北秋田市で行進と要請行動

6月6日に秋田入りした平和大行進は、大館から北秋田市に引き継がれました。庁舎前で行われた引継ぎ式の様子です。市内を行進し、午後からは上小阿仁村を訪問し、懇談・要請を行いました。

今日、用務で不在だった鹿角市の関市長からペナントが届きました。

ロシアのウクライナ侵略やイスラエルのガザでの無差別攻撃に心を痛めている首長が多くいました。

世界大会の表紙のつるで話が弾みました。



## 楽しく元気が出た秋田市集会とパレード



秋田合唱団の歌声が会場を柔らかくする中で秋田市集会は明石叡秋田市実行委員長のあいさつで開会、秋田合唱団の皆さんの伴奏で「青い空は」を全員で合唱、堀松県労連副議長から連帯と激励のあいさつを受けたのち軍拡、暮らし切り捨てる政治を変えたいと立候補した鈴木知さんの決意表明、平和委員会の川野辺会長から沖縄や南西諸島で進む基地強化・拡大について、明日訪問予定に秋田県の実況を加賀屋県議が発言、県内行進の特徴を渡部事務局長が報告しました。

コール「戦争いやだ、平和がいいね、核兵器いらぬ、核兵器使うな、武器はいらぬ、暮らしを守れ」の練習をしたのち出発、元気よくコールしながらパレード。



五城目町では、渡邊町長、澤田石副町長、石川議長が対応し、平和をめぐる情勢について意見交換をしました。また町出身の作家や文学作品、町を元気にするアイデアなどで交流しました。

井川町では議会事務局長、総務課長が対応し、世界大会パンフを手に要請。両町とも快くペナントに記名して賛同募金を寄せてくれました。

## 「二度と赤紙を配るまい」と自治体に働く仲間 「教え子を戦場に送るまい」と教職員の決意

……それぞれの思いを込めて歩いた一歩 一歩……

仙北実行委員会から横手に引き継がれた平和行進内陸コースは、13日、横手市



役所前で集会を行い、横手平鹿地域労連議長の高橋洋さんから挨拶をうけました。その後、市役所から横手駅周辺を30人ほどで「核兵器禁止条約に日本政府は入れ、核兵器はいらない」とパレードしました。

14日は朝から市議会と当局へ要請行動を行い湯沢の実行委員会に引き継がれる予定です。



自治労連県本部は7月に反核ライダーを行う予定です。

沿道で見かけたら声援して！！

詳細は後日

## 集会で世界大会に代表派遣をする決意を固める

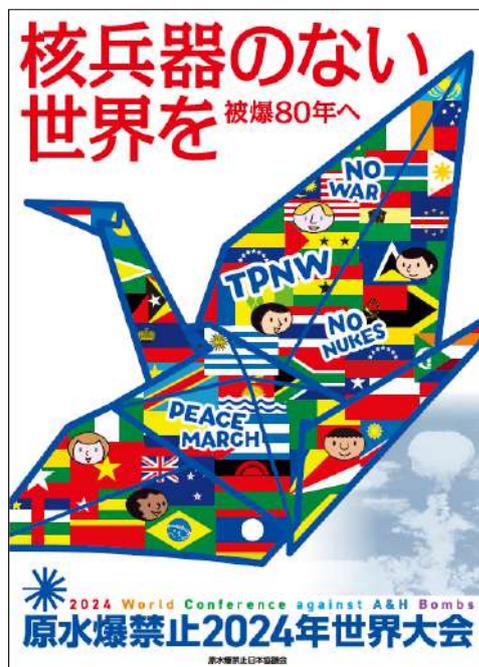
6月12日、5時30分からねむのき児童公園を会場に22名の参加で「国民平和  
大行進大曲集会」を開催しました。

集会では、非核・平和の日本を実現する3団体からの決意表明と、被爆80年



に向けての取り組みとして署名や被爆写真展示、そして地元から世界大会参加者を出していくことを確認し、丸子橋までのデモ行進を行いました。

また、自治体訪問をし、世界大会への賛同、ペナントの記名、被爆パネルの購入と展示、非核平和行政などについて懇談しました。



世界大会を成功させよう

## 核兵器のない世界の実現に向け頑張るぞ！！

・・・継続こそ力・・・少ない参加でも元気よくパレード・・・

湯沢雄勝原水協では、14日に横手から引き継ぐと、その日のうちに羽後町、東成瀬村、湯沢市の3自治体へ要請訪問を実施した。例年通りそれぞれの首長、議長から協賛金と激励の言葉をいただき、午後3:10、湯沢市役所前を出発点としてパレードを行った。

当日直前まで参加の呼びかけをしたが、様々な事情で去年の半数のわずか10名の参加に留まった。それでも参加で

きなかった方々の思いを胸に、顔を上げて一步一步手を振って行進していると、沿道から「がんばって！」と声をかける人がいて、一瞬和やかな雰囲気になった。人数は少なくても行動すれば心は伝わる。人数が少ないだけに逆にインパクトもあるのかな。そんな思いを抱いた瞬間だった。

翌15日には「道の駅おがち」で山形との引き継ぎを行った。この平和行進の運動が、核の使用を絶対に許さない闘いの本流であることを確認するとともに、長い道のりでもあり、しかも高齢化が進み困難な道でもあるが、生きているうちはお互いに頑張ろうねと笑顔で肩をたたき合い、引き継ぎを終えた。



We Call on the Japanese Government :

Join the Treaty on the Prohibition of Nuclear Weapons, NOW!

日本政府は核兵器禁止条約に参加を!

Stop the Military Buildup, NOW! 軍備増強やめよ!

原水爆禁止日本協議会